

『HELPMAN JAPAN』 介護職未経験者への意識調査（2023年度）

介護業界の事実・就労実態を伝えることで「介護職未経験」かつ「介護業界への就業・転職意向なし」と答えた方の12%が「働く意向あり」に変化。

一方、介護未経験者において介護業界での就業をためらう理由の半数以上が「心身ともにきつい仕事である」と実態に反したネガティブなイメージをもっている。

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する、日本の介護業界の就業人口を増やすためのプロジェクト『HELPMAN JAPAN（ヘルプマンジャパン）』は、介護業界の就労に関する実態を明らかにするため、介護職未経験者を対象に調査を実施しました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告します。

調査結果トピックス

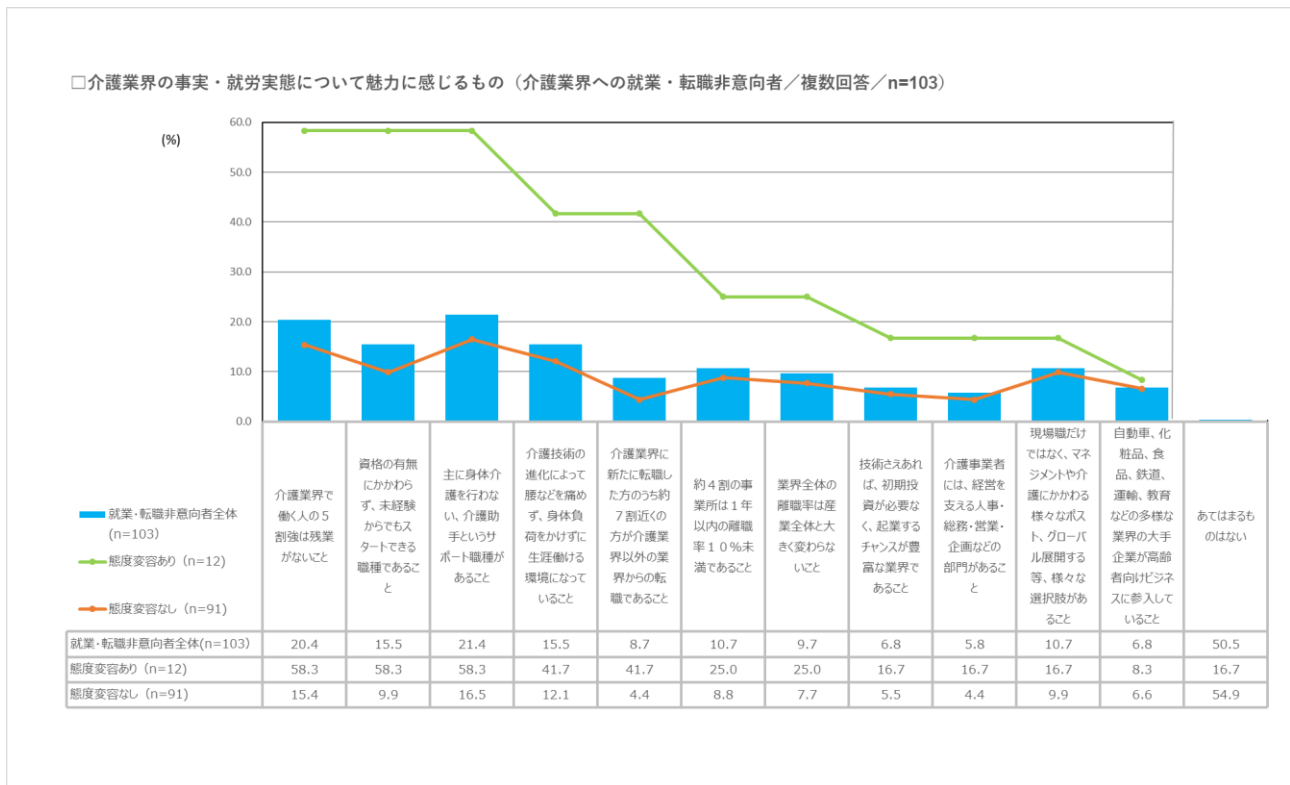
- 介護業界の事実・就労実態を伝えることで「介護職未経験」かつ「介護業界への就業・転職意向なし」と答えた人の約9人に1人が介護業界への就業意向ありに変化。
- 過去調査(2021年度)と比較し介護職未経験者の介護業界の事実・就労実態の認知度は向上。
- 介護未経験者の就業をためらう理由は「体力的にきつい仕事の多い業界だと思うから」（53.9%）「精神的にきつい仕事だと思うから」（50.0%）と実態に反しネガティブなイメージは未だ定着している。

解説

調査結果から、残業時間が少ないことや、未経験から挑戦できるという実態を知ることによって介護業界への就業意向ありに変容する、介護職未経験者も一定数いることが分かった。また、介護職は社会意義が大きく専門性のある仕事とイメージされている一方、介護職未経験者が、仕事選びにおいて重要視している働き方についてネガティブなイメージが先行し、実態が知られていないことが未経験者の介護業界参入の壁となっている可能性がある。介護業界への介護職未経験者の就業を増やすためには、就業意向に影響しやすい「残業なく働くこともできること」や「身体的負荷をかけずに働ける環境」などのあまり知られていない就労実態を訴求していくことが大切なのではないだろうか。

1. 介護業界の事実・就労実態を伝えることで「介護職未経験」かつ「介護業界への就業・転職意向なし」と答えた人の約9人に1人の就業意向が変化

- 介護職未経験者の中で「介護業界への就業・転職意向なし」と答えた103人のうち、約12%(12人)が介護業界の事実・就労実態を知ることによって「意向あり」に変化した。
- 「意向あり」に変容した人が魅力に感じた上位項目は、「介護業界で働く人の5割強は残業がないこと」（58.3%）「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」（58.3%）「主に身体介護を行わない、介護助手というサポート職種があること」（58.3%）と前回調査(2021年度)と上位項目に変化はなかった。



■ 介護業界の事実を知った後の就業・転職意向の理由 [自由記述] (介護業界への就業・転職非意向から意向あり変容者)

思っていたより働きやすくなっている (50代/女性)

人との関わりが持てることや残業時間などが少ないから (20代/男性)

想像していたより未経験でもできる仕事が多く、ハードスケジュールな事業所も想像していたほど多くないことを知ったから (20代/男性)

2. 介護業界の事実や就労実態の認知度は低いが過去調査(2021年度)と比較し向上

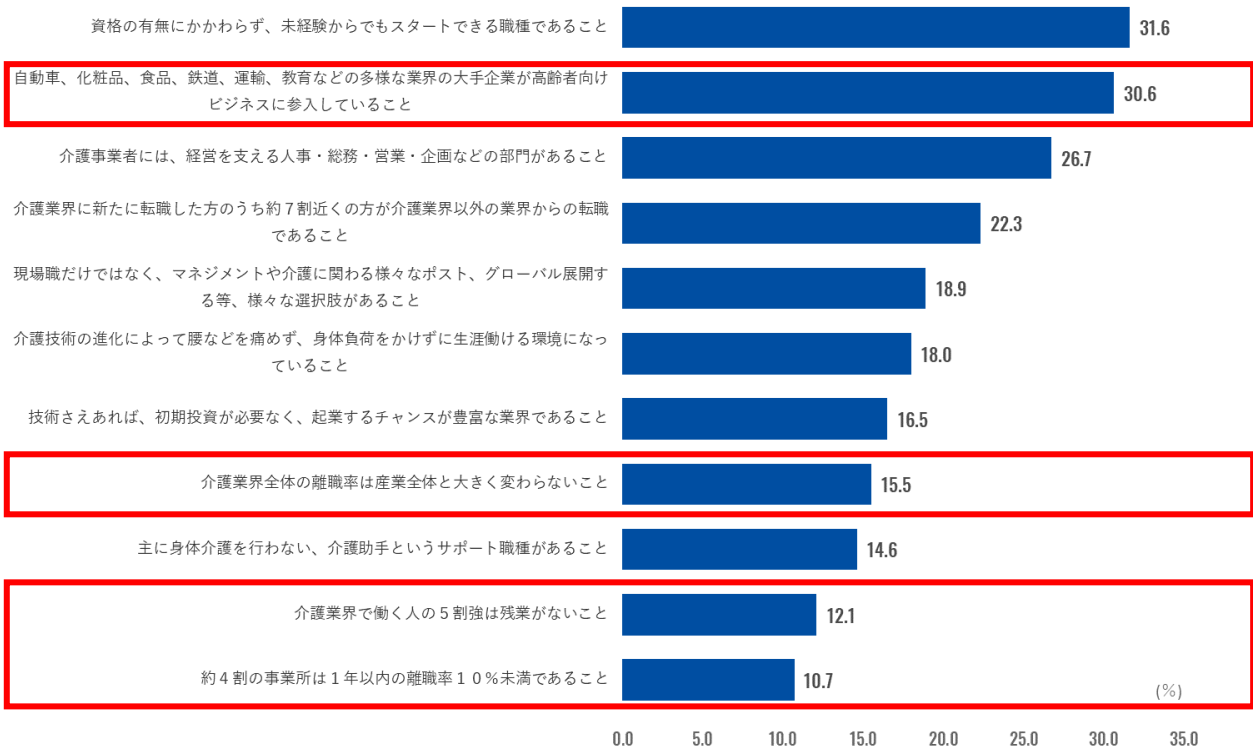
■ 介護職未経験者の介護業界の事実・就労実態における「約4割の事業所は1年以内の離職率10%未満であること」(10.7%)「介護業界で働く人の5割強は残業がないこと」(12.1%)「介護業界全体の離職率は産業全体と大きく変わらないこと」(15.5%)と働き方や定着に関する実態の認知度は低い。

■ 一方、各項目の認知割合は増加傾向にあり、前回調査(2021年度)と比較し「自動車、化粧品、食品、鉄道、運輸、教育などの多様な業界の大手企業が高齢者向けビジネスに参入していること」(22.1→30.6)は8.5ポイント「介護業界全体の離職率は産業全体と大きく変わらないこと」(8.2%→15.5%)は7.3ポイント向上しており介護業界の就労実態の認知は向上している。

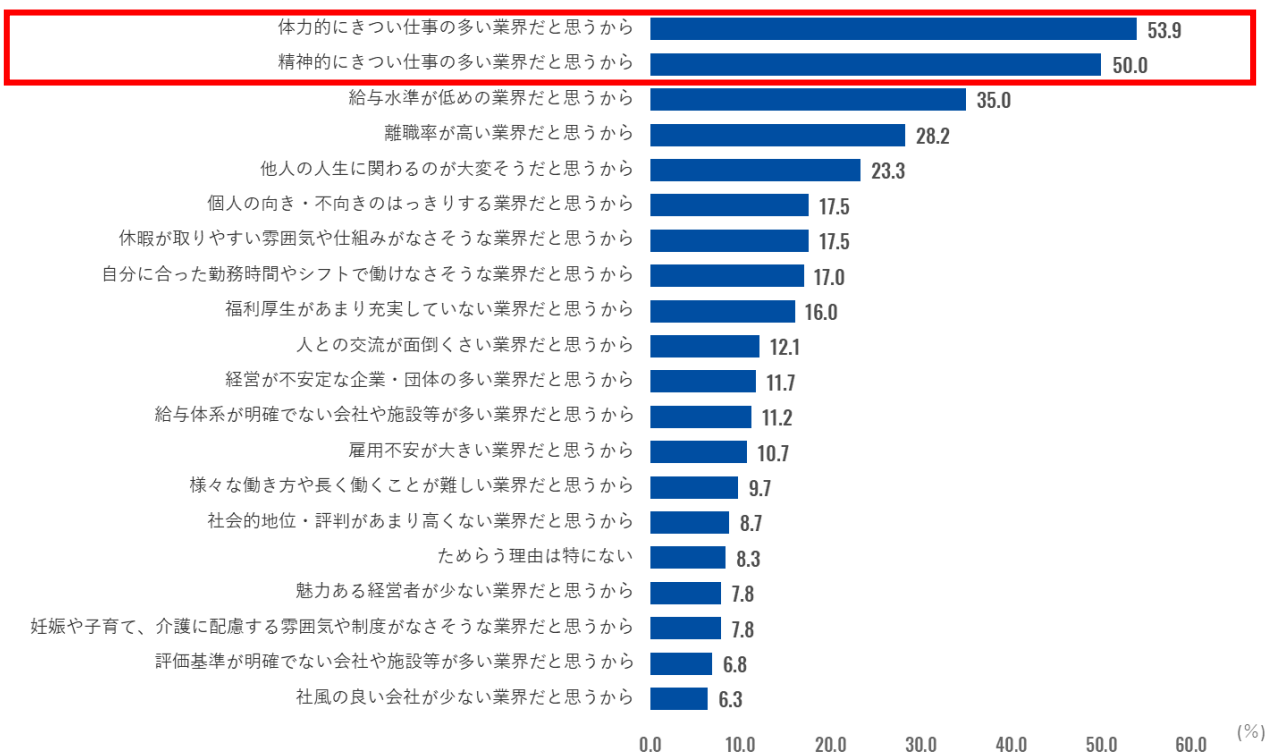
■ 介護業界には、産業全体と大きく変わらない離職率や働く人の5割強は残業がないという事実・就労実態がある一方、介護業界への就業をためらう理由として「体力的にきつい仕事の多い業界だと思うから」(53.9%)「精神的にきつい仕事だと思うから」(50.0%)と職場環境や仕事内容の不安を危惧する項目が1位に。

□介護業界の事実・就労実態認知状況：知っていた（介護職未経験者・全体／各単一回答／n=206）

注）公益社団法人介護労働安定センター「平成28年度介護労働実態調査」を参考に質問項目を作成



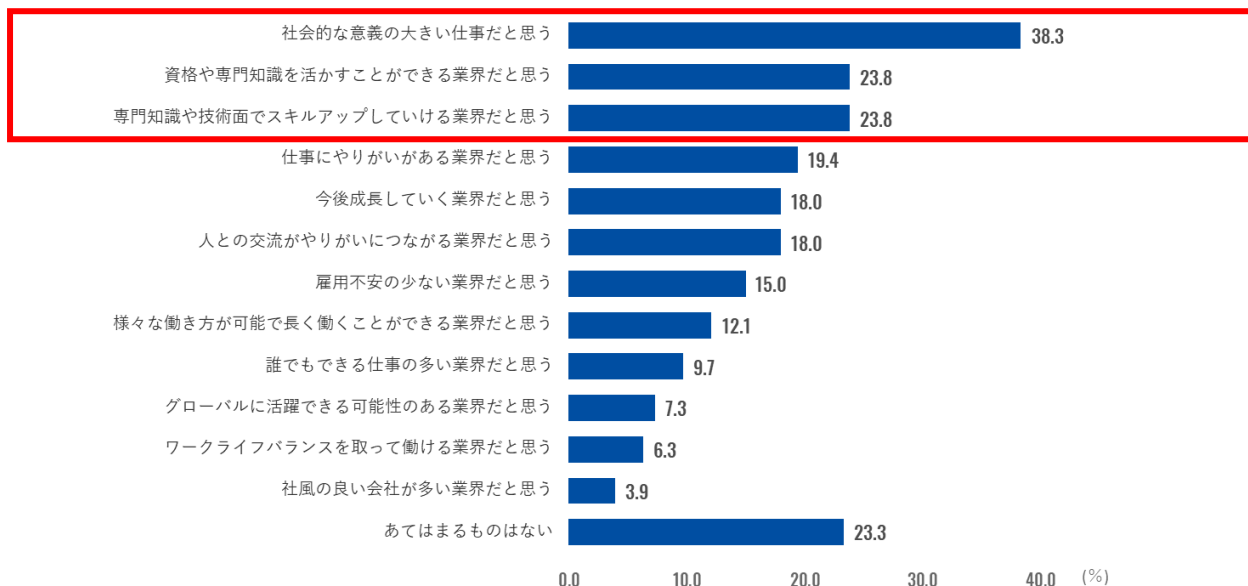
□介護業界への就業をためらう理由（介護職未経験者・全体／複数回答／n=206）



参考情報 1) 介護の仕事に対するイメージについて

- 介護業界の仕事に対するイメージは「社会的な意義の大きい仕事だと思う」(38.3%)が最も高く、「資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う」(23.8%)、「専門知識や技術面でスキルアップしていける業界だと思う」(23.8%)と、社会意義があり、専門性のある仕事というイメージが強い。

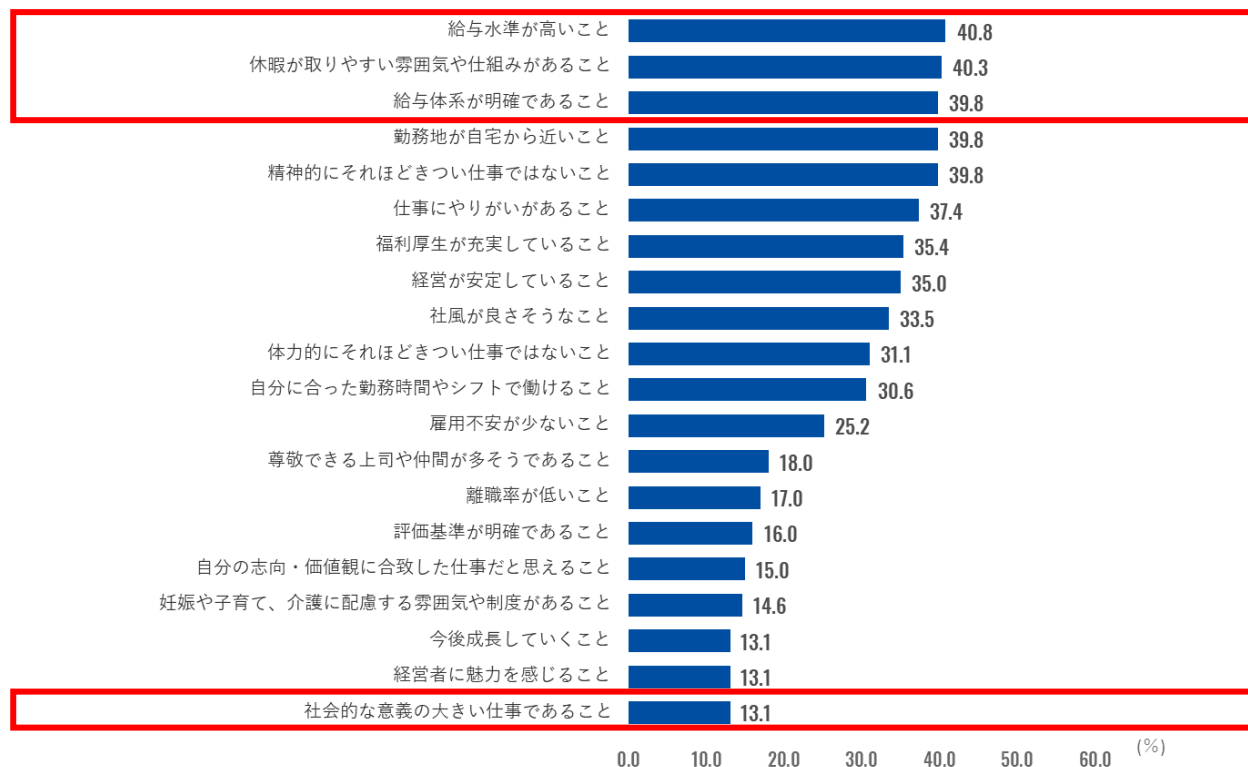
□介護業界の仕事に対するイメージ（介護職未経験者／複数回答／n = 206）



参考情報 2) 仕事を探す場合、重視することについて

- 「給与水準が高いこと」(40.8%)、「休暇が取りやすい雰囲気や仕組みがあること」(40.3%)「給与体系が明確であること」(39.8%)が上位項目となっており、「社会的な意義の大きな仕事であること」(13.1%)が最も低い結果となった。

□仕事を探す場合、重視すること（介護職未経験者・全体／複数回答／n=206）



調査概要

- (1) 実施期間：2023年12月25日(月)～12月27日(水)
- (2) 調査方法：インターネット調査
- (3) 調査会社：株式会社マクロミル
- (4) 調査対象： ●18～60歳の全国の男女 206人(A、B各103名)
 - A) 介護業界への就業・転職意向者：今までに介護職従事の経験がなく、介護サービスの仕事を、就業・転職先として考えている
 - B) 介護業界への就業・転職非意向者：今までに介護職従事の経験がなく、介護サービスの仕事を、就業・転職先として考えていない